

# 1 第172回国会概観

## 1 第45回衆議院議員総選挙

第171回国会開会中の平成21年(2009年)7月21日、麻生内閣の下、衆議院が解散された。

これを受けて、第45回衆議院議員総選挙は、8月18日に公示され、30日に行われた。

総選挙の結果、民主党は選挙前の115議席から193議席増やし、衆議院の単独過半数を大きく上回る308議席を獲得した。一方、自由民主党は選挙前の300議席から181議席減らし、昭和30年の結党以来最も少ない119議席にとどまった。また、自由民主党との連立与党であった公明党も10議席減らして21議席となった。日本共産党は9議席、社会民主党は7議席、みんなの党は5議席、国民新党は3議席を獲得し、選挙前と比べて大きな変化はなかった。

今回の選挙の全国平均投票率は、小選挙区69.28%、比例代表69.27%であった。これは、前回(平成17年8月)の総選挙を小選挙区で1.77ポイント、比例代表で1.81ポイント上回り、小選挙区比例代表並立制が導入された平成8年以降5回の総選挙では最高の投票率であった。

今回の総選挙において議席を大幅に減らした自由民主党では、8月31日、敗北の責任を取って麻生総裁が辞意を表明した。また、公明党は、9月8日、全国代表者会議で、太田代表の辞任を認め、山口那津男参議院議員を新代表に選出した。

9月9日、民主党、社会民主党及び国民新党は連立政権樹立に合意した。

## 2 会期及び活動等の概要

### (召集・会期)

第172回国会(特別会)は、8月30日に行われた第45回衆議院議員総選挙を受け、9月16日に召集された。会期は、衆参両院の本会議において、9月19日までの4日間と議決された。

開会式は、9月18日午後2時から、参議院議場で行われた。

### (院の構成)

参議院では、召集日当日、国家基本、予算両常任委員長を選挙し、災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA及び消費者問題の6特別委員会が前国会に引き続き設置された。

衆議院では、召集日当日、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に民主党・無所属クラブの横路孝弘君が、副議長には自由民主党の衛藤征士郎君が当選した。また、議院運営委員長の選挙を行った。18日、議院運営委員長を除く各常任委員長の選挙を行い、前国会においても設置されていた災害対策等7特別委員会が設置された。

### (内閣総理大臣の指名)

召集日当日、両院の本会議において内閣総理大臣の指名が行われた。投票の結果、鳩山由紀夫民主党代表が、自由民主党の若林正俊両院議員総会長、公明党の山口那津男代表、共産党の志位和夫委員

長、平沼赳夫君らを退け、第93代60人目の内閣総理大臣に指名された。獲得票数は、衆議院本会議で327票(投票総数480票)、参議院本会議で124票(投票総数237票)であった。

内閣総理大臣の指名を受け、同日、民主党、社会民主党及び国民新党の3党の連立による鳩山内閣が発足した。社会民主党の福島みずほ党首は内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、少子化対策、男女共同参画)、国民新党の亀井静香代表は内閣府特命担当大臣(金融)として入閣した。

#### (活動等の概要)

今国会中、新規に提出された議案はなかった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

9月18日、衆参両院の本会議で閉会手続が行われた。